

別記様式（第4条関係）

会議録

会議の名称	第23回加東市地域公共交通活性化協議会																											
開催日時	令和3年8月25日（水）午後2時から午後3時50分まで																											
開催場所	社公民館 2階 研修室																											
<p>議長の氏名（会長 兒山 真也）</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p><出席委員></p> <table border="0"> <tr> <td>・石田 和伸</td> <td>・田橋 一</td> <td>・江指 真祐</td> <td>・田原 孝幸</td> </tr> <tr> <td>・西村 滋</td> <td>・山戸 隆宏</td> <td>・田渕 弘樹</td> <td>・宇高 昌利</td> </tr> <tr> <td>・森 秀樹</td> <td>・田中 隆文</td> <td>・大久保 信三</td> <td>・谷上 泰生</td> </tr> <tr> <td>・松尾 美智子</td> <td>・山本 保</td> <td>・白井 孝之</td> <td>・阿江 孝仁</td> </tr> <tr> <td>・中村 勇</td> <td>・吉田 伊佐見</td> <td>・丸山 正人</td> <td>・大西 祥隆</td> </tr> <tr> <td>・大畑 敏之</td> <td>・小林 勝成</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><欠席委員></p> <table border="0"> <tr> <td>・水田 節男</td> <td>・小幡 修司</td> <td>・石原 敬三</td> </tr> </table>		・石田 和伸	・田橋 一	・江指 真祐	・田原 孝幸	・西村 滋	・山戸 隆宏	・田渕 弘樹	・宇高 昌利	・森 秀樹	・田中 隆文	・大久保 信三	・谷上 泰生	・松尾 美智子	・山本 保	・白井 孝之	・阿江 孝仁	・中村 勇	・吉田 伊佐見	・丸山 正人	・大西 祥隆	・大畑 敏之	・小林 勝成			・水田 節男	・小幡 修司	・石原 敬三
・石田 和伸	・田橋 一	・江指 真祐	・田原 孝幸																									
・西村 滋	・山戸 隆宏	・田渕 弘樹	・宇高 昌利																									
・森 秀樹	・田中 隆文	・大久保 信三	・谷上 泰生																									
・松尾 美智子	・山本 保	・白井 孝之	・阿江 孝仁																									
・中村 勇	・吉田 伊佐見	・丸山 正人	・大西 祥隆																									
・大畑 敏之	・小林 勝成																											
・水田 節男	・小幡 修司	・石原 敬三																										
<p>オブザーバーとして出席した者の職氏名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課 奥藤 秀樹 ・神姫バス株式会社バス事業部計画課 竹内 宏 ・神姫バス株式会社バス事業部計画課 岩津 萌輝 ・神姫観光株式会社小野支店 永井 智裕 																												
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり政策部企画政策課長 下岡 正裕 ・まちづくり政策部企画政策課副課長 高田 篤 ・まちづくり政策部企画政策課係長 鷹尾 有紀 ・まちづくり政策部企画政策課主査 藤崎 純平 																												
<p>1 議題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加東市自家用有償旅客運送（福田ふくふく線）の変更登録について ・加東市地域公共交通網形成計画の総括について ・加東市地域公共交通計画（仮称）の策定について <p>2 資料名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用有償旅客運送（福田ふくふく線）の変更登録（資料No. 1） ・加東市地域公共交通網形成計画の総括について（資料No. 2-1、2-2） ・加東市地域公共交通計画（仮称）の策定について（資料No. 3） ・加東市民の交通行動に関するアンケート調査結果（速報値）等に基づく加東市地域公共交通の問題点と課題について（資料No. 4） ・加東市地域公共交通計画の作成方針について（資料No. 5） ・「加東市民の交通行動に関するアンケート調査」の結果について（速報値） 																												

令和3年10月19日

会長 兒山真也

副会長 石田和伸

(別紙) 第23回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 加東市自家用有償旅客運送(福田ふくふく線)の変更登録について(資料No. 1)</p> <p>事務局から説明</p> <p>【質疑応答等】</p> <p>議長 加東市自家用有償旅客運送(福田ふくふく線)の登録の変更によって、これまで車と交錯する危険性が懸念されていた東古瀬こども園での安全性が高まるということになります。加東市自家用有償旅客運送(福田ふくふく線)の変更登録について、ご承認いただけますか。</p> <p>委員 [異議なし]</p> <p>議長 それでは、異議がないので、加東市自家用有償旅客運送(福田ふくふく線)の登録変更について承認します。</p> <p>(2) 加東市地域公共交通網形成計画の総括について(資料No. 2)</p> <p>事務局から説明</p> <p>【質疑応答等】</p> <p>議長 総括に関連して、神姫バス、JR西日本、ファイブスタータクシーから、現在の各公共交通の利用状況等について報告いただきたいと思います。</p> <p>委員 令和2年4月の1回目の緊急事態宣言以降、1年が経過しました。ファイブスタータクシーでは、コロナ禍以前は11~12台の待機車両を配置できていたものの、コロナ禍で一時は半分以下の5台となり、現在では約8台となっています。売上はやや回復したものの、コロナ禍以前の状態にはほど遠い状態です。また、夜間や日祝の需要が極端に減少している状況です。</p> <p>委員 神姫バスでは、1回目の緊急事態宣言時に、利用者数が前年度比で約40%まで落ち込み、一旦は約80%まで戻りましたが、その後の緊急事態宣言の発令に伴い、約70~80%で変動している状態です。</p> <p>その内訳として、高校生の定期券利用者は80~90%であるものの、大学生及び通勤の定期券利用者は約70%と、リモートワーク等による働き方の変化の影響がみられます。</p> <p>安心してバスに乗っていただくために、消毒や換気、乗務員の健康管理を徹底しているものの、依然厳しい状態にあります。</p> <p>委員 JR西日本では、2期連続の赤字となっています。</p> <p>安全対策や感染防止対策を推進しながら、その一方で、その他の施策の見送りや固定費の削減に努めましたが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響もあり、収益減となりました。非鉄道事業においても休業要請等の影響で厳しい状態です。厳しい状況はコロナ禍以前から続いていましたが、コ</p>

議長	<p>コロナ禍の影響で想定を下回る見通しとなっています。感染が収束した後もテレワーク・リモートワークの継続等で、利用者については、以前ほどの回復はないと想定しています。鉄道の安全性向上の取組や、さらなる経費削減を継続しながら、グループ全体で経営改善に取り組むとともに、将来にわたって持続可能な公共交通の実現を目指して、公共交通の今後のあり方を地域の皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。</p> <p>地域公共交通については、依然厳しい状態が続いているということです。それでは、続いて評価シートについて意見等あればお願いします。</p>
委員	<p>6番目の取組内容の「スクールバスの有効活用の検討」について、他の自治体では混乗をしている事例もあるので、再度、検討をしていただければと思います。また、スクールバスの空き時間の利用については、他の公共交通機関との連携を充実させることが必要だと考えています。</p> <p>10番目の取組内容の「情報通信技術（ICT）を活用した利便性の向上」に書かれているように、SNSやインターネットを活用して経路検索を容易にすれば、スクールバス利用の需要もあるかと思ひます。</p> <p>公共交通は、単体で考えるのではなく、連携という視点で施策を検討していただきたいと思ひます。</p>
事務局	<p>スクールバスの有効活用については、児童と一般の乗客が混乗した時に、一般の乗客が多く児童が利用できなくなる、といった状態を避けたいという思ひがあります。現在は混乗ではなく、空き時間を活用する方針で、運行状況を把握しながら関係機関と協議・検討を進めたいと考えています。</p> <p>また、市外への移動については路線バスに役割を担ってもらい、自主運行バス、乗合タクシー、タクシーが路線バスに接続する支線としての役割を担い、それぞれの役割を分担することで、公共交通のネットワーク化を図っていききたいと考えています。</p>
議長	<p>混乗については、これまで教育委員会と協議されてきた経緯もあり、尊重せざるを得ないと思ひます。ネットワークの活用については、引き続き検討をお願いします。</p>
委員	<p>7の取組内容の「乗合タクシー（定時定路線型、デマンド型）」について、乗合タクシーをうまく活用することで、より充実したものとなると考えています。社地域にとどまらず、東条、滝野地域に繋がるデマンド型の交通手段を今後お考えいただければと思います。</p> <p>また、滝野地域では、加西市から宇仁ふれあいバスが来ていますが、加東市民は利用できません。他市との交渉が難しいと説明されていますが、近隣市町と互いに協力し合い、北播磨地域が盛り上がる交通形態を目指してほしいと思ひます。</p>
事務局	<p>社市街地内の移動手段を確保する目的で、令和2年7月から定時定路線型の乗合タクシーを運行しています。滝野地域、東条地域につきましても、利用状況や交通事業者との調整、地域との協議の中で、デマンド型などあらゆる移動手段の中から地域に合ったものを検討していきたいと考えています。</p> <p>宇仁ふれあいバスについては、加西市の宇仁地域が主体的に運行しているバスになりますので、利用は宇仁地域の方に限定されたものになり、他地域の方が利用することは難しいです。有効な手段があれば、他市との連携についても協議しますが、現時点で他市との連携には至っていません。</p>

議長	次期計画にネットワークの充実について記載する予定ではあるものの、具体的にどこまで記載するかについてお示しすることは、現時点では難しいと聞いています。最終的な計画になるまでに議論していただければと思います。
オブザーバー	資料の見せ方の話になりますが、数値目標に「商業施設に併設した交通結節点の整備」とあり、令和4年度からの供用になるかと思います。令和3年度時点で0箇所としては進展が無いように見えるので、書き方を工夫されるべきかと思います。
事務局	ご意見を踏まえ、記載の仕方等について、内部で検討します。
委員	7番目の取組内容の「タクシーの有効活用に向けた取組」の福祉タクシー事業のあり方の検討については、現在、福祉タクシー券の1回の利用枚数が5枚に制限されていますが、地域によっては利用者の自己負担が発生します。利用者の負担が少なくなるかたちで制限の緩和をすれば、より利用も増えるかと考えています。
議長	資料によると、「使用枚数制限の上限を検討する」と記載されていますが、制限を緩和すると読んでよいでしょうか。その辺りを含めて説明をお願いします。
委員	福祉タクシー事業については平成28年度から利用率は減少傾向にあり、特に令和2年度では、コロナの影響もあり、利用率は50%を下回っています。 平成29年度に、人と出会う、体を動かす等、外出回数を増やすことを目的に、福祉タクシー券の1回の利用枚数を5枚に制限しました。ただ、ワクチン接種のために交付したタクシー利用券の利用料金を見る限り、5枚の上限について検討が必要だと感じています。 ただ、居住地や目的地によって必要枚数が異なっており、福祉タクシー券を利用して市外へ出かける方もおられます。アンケートを実施したので、使用状況や使用目的などを集計しながら、上限緩和について検討を進めていきたいと考えています。
委員	タクシー券については、近隣市町でも同様の問題が出ています。同じ市内で同じ目的地に行くのに、自己負担額に差異があります。自己負担額が高額になると、高齢者や障害者が施設に行きにくくなりますので、ご検討いただければと思います。 また、公共交通ガイドブックには、タクシー事業者3社が記載されていますが、福祉タクシー券を扱っているタクシー事業者はもっとあると思います。どのような基準で選定されたのでしょうか。
議長	居住地域により交付枚数を変更することに関しては、平等ではないため採用しない、という結論が出されています。そこはやむを得ないとして、利用制限の緩和については、引き続き、ご検討いただきたいと思います。 公共交通ガイドブックに記載した選定基準を事務局から説明いただければと思います。
事務局	公共交通ガイドブックに記載している事業者については、加東市内をメインに移動できるかについて、各社と協議の上、記載しています。福祉タクシー

	<p>券に記載しているタクシー事業者の大半は、介護タクシーを主としている事業者であるため記載していませんが、福祉タクシー券の対象となっているため、今後検討は必要かと考えています。</p>
委員	<p>福祉タクシーは介護タクシーとして継続して問題ないと思います。</p> <p>ただ、外出を目的として福祉タクシー券を利用するのであれば、タクシー券はすぐになくなってしまいます。利用回数を増やすのであればバスの方がいいかと思えますし、福祉バス券というものを考えてもいいかと思えます。</p> <p>また福祉タクシー券が市内のどの地域の方にとっても平等にすることについて、福祉タクシー券に、金額ではなく、ショッピングパーク等の目的地を記載して発行することも1つの方法かと思えます。</p> <p>また、バスの停留所で、時刻表の表示が消えていたり、運賃が分からないなどの停留所もあるかと思えます。高齢者の場合、スマホなどで検索できない方もいるので、点検や管理をお願いします。</p>
委員	<p>福祉タクシー券について、目的地を指定したかたちでの発行については、現在ワクチン集団接種のタクシー券において、そのような内容で取り組んでおり、比較的利用されていたと感じています。目的地が複数となった場合の運用方法等で課題があるかと思えますが、今回の内容も踏まえて参考にさせていただきます。</p>
事務局	<p>待合環境の改善について、時間表示が消えている所があれば、神姫バスと調整させていただきながら対応したいと考えています。</p> <p>その他の改善点についても、これまでから状況を把握してきましたが、必要に応じて対応していきたいと考えています。</p>
議長	<p>バス停で時刻表が読めないほどの、ひどい状態を見かけたことはありませんが、何か心あたりはありますか。</p>
委員	<p>時刻表が読めない状態になっていることについては心当たりがありません。また、運賃についてはバス停の時刻表に載せていませんので、乗らないとわからないかと思えます。</p>
議長	<p>待合環境に加え、情報提供の仕方として表示内容が十分でないというのはあったかと思えます。時刻表はダイヤ改定時に紙を貼っているケースもあるので、雨に濡れてはがれているケースがあるかもしれません。全く読めないまま放置されているケースはあまり多くないかと思えます。</p>
委員	<p>福祉バス券については検討の余地はありますか。</p>
議長	<p>タクシーに限らず、交通全般の券のようなイメージですね。</p>
委員	<p>J R では導入は難しいと思います。</p>
議長	<p>定時定路線型のバスですね。</p>
委員	<p>神戸市が発行しているような、2割引のパスは検討しないのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、料金の見直し・改定を神姫バスと検討しています。福祉バス券という内容ではなく、市内限定ですが、均一料金制度の導入について検討を進め</p>

	<p>ています。均一料金にして、お子様から高齢者まで乗りやすい料金体系を構築していきます。</p> <p>(3) 加東市地域公共交通計画（仮称）の策定について（資料No. 3, 4, 5）</p> <p>事務局から説明</p>
委員	<p>【質疑応答等】</p> <p>目標年次について、令和4年度から5年間と説明がありましたが、5年後に向かっての考え方を記載する必要があるかと思います。</p> <p>65歳以上の高齢者の多くの方が「今はいいが、将来の移動について不安」と感じているようですが、自主運行バスで現在登録されている運転手のほとんどが70歳代であるかと思います。今の状態で次のドライバーが育つのでしょうか。高齢化時代であり、神姫バスでも乗務員が不足しているという中で、運転手を確保するための施策が記載されていません。5年後を考えるのであれば、このことについて対応できるのか、フォローがないと計画に記載するのは危険かと思います。</p>
議長	<p>加東市が目指す地域公共交通の将来像に「地域とともに守り育てる」、あるいは現計画でも、最後の項目に「担い手の確保」と記載されていますが、新たな計画でも重要になるかと思います。</p>
事務局	<p>自主運行バスの運転手は、60歳代が中心となっています。自主運行バスの運転手の担い手の確保について、現在も地域と市が連携しながら取り組んでいます。運行会議等を定期的に行い、知識や経験の継承、人材育成に取り組んでいるところです。今後も継続的にこれらの取り組みを行っていく考えです。</p>
議長	<p>運行会議という話がありましたが、新たな人材の確保に向けて機能しているという認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>運行会議は、運転手、区長、市で構成しており、引き続き、人材確保、知識等の継承に努めていきたいと考えています。次期計画素案の中で、運転手の確保についての取組をお示ししたいと考えています。</p>
議長	<p>それでは、次期計画の作成方針に従って、加東市地域公共交通計画の策定を進めても、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>〔異議なし〕</p>
議長	<p>ありがとうございます。異議がないとのことで、作成方針に従って進めさせていただきます。</p> <p>以上で本日の議事は終了となります。</p>
事務局	<p>3 その他</p> <p>次回、第24回協議会の開催時期は10月下旬を予定しております。</p> <p>4 閉会</p>